

第11回 人生まなび塾（ボランティア体験）

～ イベント（演劇発表）スタッフ ～

実施日 平成23年2月13日（日）
参加者 塾生11名、スタッフ4名
内容 イベント補助スタッフ
場所 宍粟市山崎文化会館
（サンホールやまさき）



本年度人生まなび塾もいよいよ最終回になり、ラストは山の学校修了記念公演の演劇スタッフを体験しました。

当日、朝10時に山崎文化会館に直接集合して、受付の後、本日の体験内容を説明しました。本校生徒や他のスタッフはすでに舞台の準備を始めており、塾生たちは観客の受け入れ準備をしました。まず、客席の音響配線と舞台を暗くするための小灯の目隠しです。スピーカーケーブルはお客さんが足を引っかかないよう養生テープで床に固定し、小灯の目隠しは脚立に上りながら黒幕で覆いました。



次はロビーで受け付け準備です。長机を配置し、観客に配付するパンフレット、アンケート記載台の準備、観客動線の確保、公演ポスターや各種案内表示の掲示等、スタッフとしてもやることはたくさんあります。バタバタしているうちに、舞台ではリハーサルが始まりました。本番ではカメラ撮影禁止予定なので、このリハーサルのうちに公演記録画像を撮っておかねばなりません。舞台上で演じる生徒の緊張感が伝わったのか、塾生たちも失敗しないよう慎重にカメラを向けていました。



ようやく、昼休みです。お弁当を食べて少し休んだらすぐに午後の本番に向けての受け入れ準備です。ここからは2班に分かれて、1班は駐車場で来場車の整理、もう1班は受付を担当しました。駐車場係は連絡用トランシーバーで来場車をスムーズに誘導し、できるだけ混雑しないよう車をさばくことができました。ロビーには開場前から楽しみに来られた観客たちが待っていましたが、受付係は午後1時30分になると順序よく丁寧にパンフレットを配りながら案内していきました。中には受付の時に、上演時間やトイレの場所、公演内容まで質問される場面もありましたが、準備の段階である程度予習していたのでおおかたスムーズに対応することができました。

開演時間ぎりぎりまで仕事をした後、客席に座って公演「山の奇跡」を鑑賞しました。始めて本格的な劇を見た塾生たちは、生徒の熱演に感動して涙を流していた人もいました。

参加者たちは貴重な体験に満足しながら、宍粟市文化会館を後にしました。



< 塾生の感想 >

- ・思ったより本格的で良かった。劇も長い台詞をよく覚えたなと感心した。
- ・一人一人が夢を持ってがんばっているのを見て感動しました。また機会があれば参加したいと思います。
- ・一年間の苦勞や喜びがひしひしと伝わってきました。僕自身とても考えさせられることが多くあり、すごく良い時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

